

琉球大学学術リポジトリ

子宮頸癌に対する高線量率腔内照射の最適線量スケジュールの開発

メタデータ	言語: 出版者: 戸板孝文 公開日: 2010-01-18 キーワード (Ja): 子宮頸癌, 放射線治療, 高線量率腔内照射, 多施設共同前向き臨床試験 キーワード (En): Uterine cervical cancer, Radiotherapy, High-dose-rate intracavitary therapy, multi-institutional cooperative study 作成者: 戸板, 孝文, 垣花, 泰政, 古平, 毅, 手島, 昭樹, 前濱, 俊之, Toita, Takafumi, Kakinohana, Yasumasa, Kodaira, Takeshi, Teshima, Teruki, Maehama, Toshiyuki メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/14839

資料 2

「I,II 期子宮頸癌に対する高線量率腔内照射を用いた根治的放射線治療に関する多施設共同前向き臨床試験」

放射線治療質的管理委員会 放射線治療品質保証検討手順書

JAROG0401, JROSG04-2

「I,II 期子宮頸癌に対する高線量率腔内照射を用いた根治的放射線治療に関する多施設共同前向き臨床試験」

放射線治療質的管理委員会 放射線治療品質保証検討手順書
厚生労働省がん助成金小口班 (16-12)

【目的】

I,II 期子宮頸癌に対する高線量率腔内照射を用いた根治的放射線治療に関する多施設共同前向き臨床試験 (JAROG0401, JROSG04-2) 実施計画書に記載された治療規定に遵守した放射線治療がおこなわれたどうかの評価を行う。

【方法】

全治療症例について、質的管理委員会が、治療施設より提出された資料を用いて行う。

【放射線治療質的管理手順】

1. 検討 (提出) 資料

- ・ 治療前 MRI T2 強調像 (病巣がもっとも明瞭に写り腫瘍径の計測が可能なスライス: Axial 及び Sagittal 像)
- ・ 外部照射関連資料
 - 1) 治療体積を示す情報 (CT simulation の DRR, X 線位置決め装置の写真)
 - 2) 線量分布図
 - 3) 外部照射照合写真 (ライナックグラフィ, EPID 画像)
 - 4) 放射線治療照射録 (日々の治療記録, 照射方向, エネルギー, 照射野サイズ, モニターユニット値算出のための各種計数が記載された原資料) のコピー
- ・ 腔内照射 (HDR-ICBT) 関連資料
 - 1) 線源位置確認のための X 線写真 (正面/側面像, 4 回分)
 - 2) HDR-ICBT の線源強度配分を示す資料 (4 回分)
 - 3) 線量分布図 (正面/側面像, 4 回分)

4) 放射線治療照射録（日々の治療記録，A 点線量，直腸/膀胱/膣線量等が記載された原資料）のコピー

* これらはすべて個人情報のマスキングを行ったのちに提出すること

* 照射録のコピーを除き小口班テンプレートに張付け，CD に落して提出する

2. 検討項目

- 1) 放射線治療開始日
- 2) 外部照射エネルギー
- 3) 外部照射 1 回線量
- 4) 外部照射総線量
- 5) 外部照射 PTV
- 6) 外部照射線量分布均一性
- 7) 外部照射中央遮蔽挿入時期
- 8) 外部照射中央遮蔽設定位置
- 9) 外部照射一日照射門数
- 10) 位置決め写真とライナックグラフィとの照合
- 11) HDR-ICBT 開始日
- 12) HDR-ICBT 1 回線量
- 13) HDR-ICBT 総線量
- 14) HDR-ICBT A 点設定
- 15) HDR-ICBT リスク臓器基準点線量
- 16) 総治療期間

3. 評価基準

QA-1) 放射線治療開始日

違反 ー

逸脱 登録日から治療開始日まで 8 日以上である

遵守 登録日から治療開始日まで 7 日以内である

QA-2) 外部照射エネルギー

違反 —
逸脱 6MV 未満の X 線, あるいは Cobalt で治療した
遵守 6MV 以上の X 線で治療した

QA-3) 外部照射 1 回線量 (指示線量)

違反 —
逸脱 1 回線量が 2Gy でない
遵守 1 回線量が 2Gy である

QA-4) 外部照射総線量 (指示線量)

違反 —
逸脱 総線量が 50Gy でない
遵守 総線量が 50Gy である

QA-5) 外部照射 PTV

違反 —
逸脱 PTV がプロトコルに記載された基準で設定されていない
遵守 PTV がプロトコルに記載された基準で設定されている

QA-6) 外部照射線量分布均一性 (標的基準点を含む横断面における)

違反 —
逸脱 PTV の線量が処方線量の 95~107%におさまらない
遵守 PTV の線量が処方線量の 95~107%におさまる

QA-7) 外部照射中央遮蔽挿入時期

違反 —
逸脱 20Gy 時でない
遵守 20Gy 時である

QA-8) 外部照射中央遮蔽設定位置

違反 —
逸脱 幅が 3-4cm でないか, または照射野上縁から下縁まで打ち抜きでない

遵守 幅が3-4cm であり、かつ照射野上縁から下縁まで打ち抜きである

QA-9) 外部照射一日照射門数

違反 一日に各門すべてが照射されていない

逸脱 —

遵守 一日に各門すべてが照射されている

QA-10) 位置決め写真とライナックグラフィとの照合

違反 —

逸脱 位置決め写真とライナックグラフィとが6mm 以上ずれている
照射野形状が位置決め写真とライナックグラフィとで異なる

遵守 位置決め写真とライナックグラフィのずれが5mm 以内である

QA-11) HDR-ICBT 開始日

違反 —

逸脱 外部照射 20Gy 後、10 日以上たってから開始された

遵守 外部照射 20Gy 後、9 日以内に開始された

QA-12) HDR-ICBT 1 回線量 (指示線量)

違反

逸脱 A 点線量が6Gy でない

遵守 A 点線量が6Gy である

QA-13) HDR-ICBT 総線量 (指示線量)

違反 —

逸脱 A 点線量で24Gy でない

遵守 A 点線量で24Gy である

QA-14) HDR-ICBT A 点設定

違反 —

逸脱 外子宮口または外側膣円蓋部以外を規準として設定された
左右 A 点のうち低い値を示す側を線量指定規準点にしなかった

遵守 プロトコルに記載された条件で外子宮口または外側腔円蓋部を規準として設定され、かつ、左右 A 点のうち低い値を示す側を線量指定規準点としていた

QA-15) HDR-ICBT リスク臓器基準点線量

違反 —

逸脱 膀胱・直腸・腔粘膜基準点 (ICRU38) における線量を治療毎に計算していなかった

遵守 膀胱・直腸・腔粘膜基準点 (ICRU38) における線量を治療毎に計算していた

QA-16) 総治療期間

違反 —

逸脱 8 週間以上である

遵守 8 週間以内である